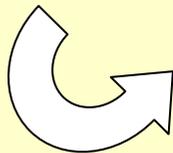


天橋立を守っています。

天橋立に流れ着く砂が少なくなったことから、昭和初期から砂浜がやせ細っていきました。そこで、自然に堆積した砂と自然の波の力を利用し(サンドバイパス工法など)砂浜を太らし守っています。



昭和40年代



現在

天橋立を守る仕組み



京都府(港湾管理者)